

(単位：千円)

—親和—

| 勘定科目 | | 予算額 |
|-----------------------------|----------------------|---------|
| 事業活動による収支 | 介護保険事業収入 | 771,900 |
| | 高齢者支援事業収入 | 21,970 |
| | その他の収入 | 3,260 |
| | 事業活動収入計 ① | 797,130 |
| | 人件費支出 | 524,080 |
| | 事業費支出 | 141,520 |
| | 事務費支出 | 96,020 |
| | その他の支出 | 2,990 |
| | 事業活動支出計 ② | 764,610 |
| | 事業活動資金収支差額 ③ (①-②) | 32,520 |
| 収支等に よる 施設 整備 | 施設整備等収入計 ④ | 0 |
| | 施設整備等支出計 ⑤ | 51,780 |
| | 施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤) | △51,780 |
| 活動に よる その他 の 収支 | その他の活動収入計 ⑦ | 33,000 |
| | その他の活動支出計 ⑧ | 20,280 |
| | その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧) | 12,720 |
| | 予備費支出 ⑩ | 6,200 |
| 当期資金収支差額合計 ⑪ (③+⑥+⑨-⑩) | | △12,740 |

『法人、施設の役職員が、一致協力して、利用者に親しみやすい和やかな生活の場を提供する施設を経営することを目的とします』

農業の分野で接木と言う技術があります。穂木と台木を接合させるもので、穂木と台木が一体となって、その後の生育が順調に行われることを「親和性」があるといえます。「親和性」が高ければ、枝葉が茂り、花が咲き、やがて実を結びます。

私たちは、この「親和」を基本理念として、利用者職員が、職員相互が、そして法人と地域社会とが、相手の立場を尊重した深い信頼関係を土台として、ともに成長していくことを目指します。

—利他のこころ—

『先ず他の人の幸福、利益を考える』

法人、施設の役職員は常にこの理念をもってサービスの提供にあたり、利用者の人としての尊厳を守ります。

経営計画（基本方針）

(1) 2024年度 事業計画の基本方針

2023年は新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、世の中はコロナ禍前の状況に戻ってきています。しかし高齢者を相手にする介護事業は感染症に対して未だに緊張した状況が続いています。当法人も4度のクラスターを経験する中で、どうしても緩和策には慎重にならざるを得ません。ただ特養は病院とは違い“生活の場”ですので、以前のような日常を少しでも取り戻す努力を今後も続けていかなければなりません。

入居者様やご家族様に少しでもご満足いただけるよう取り組んでまいります。また、感染症により希薄化してしまった“地域とのつながり”を取り戻すため、地域に出て地域の方々との福祉の向上に貢献してまいります。

(2) 行動指針・判断基準

新型コロナ拡大の状況下でも法人の基本理念に変更はなく、下記を基本理念に基づく行動指針・判断基準とします。

「介護の親和」は 協力する 気付きあう 思いやる

「介護の利他のこころ」は 相手の幸福 相手の立場 相手の思いを最優先

(3) 重点目標

①その人らしい生活のために ～個別ケアの充実させる

i) 個別ケアを充実させる（ケアプラン等）

ii) 看取り対応を充実させる（食事、家族、加算等）

②人材の育成と組織の活性化 ～働きがいと魅力のある職場づくり

i) 接遇の向上を図る（虐待防止等）

ii) 研修を行う（内部、外部リモート等）

③地域社会への貢献 ～選ばれる福祉の拠点を目指す

感染対策を行って行事等を行う（夏祭り、慰霊祭、敬老会）

④経営の安定 ～継続は力

i) 加算の取得をする（ライフ、看取り）

ii) 【目標】稼働率（利用率）

特養（ショート合算） 123人 97.5%

小松原園デイ 40人 78.0%

発行

〒193-0802

東京都八王子市犬目町 688-2

社会福祉法人 親和福祉会

広報編集委員会

TEL 042-654-8331

FAX 042-654-8330

MAIL shinwa@komatubaraen.or.jp

ホームページ http://www.komatubaraen.or.jp ↑



春蘭



2024年度事業計画について

特養次長 齋藤 学

法人の運営につきまして、日頃よりご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、世の中はコロナ禍前の状況に戻ってきています。しかし高齢者を相手にする介護事業は感染症に対して未だに緊張した状況が続いています。ただ特養は病院とは違い“生活の場”ですので、以前のような日常を少しでも取り戻す努力を今後も続けていかなければなりません。入居者様やご家族様に少しでもご満足いただけるよう取り組んでまいります。また、感染症により希薄化してしまった“地域とのつながり”を取り戻すため、地域に出て地域の方々との福祉の向上に貢献してまいります。

いろいろなことが復活しましたよ！

ドライブ外出(桜・チューリップ) 🌸



わくわくレク(お好み焼き・おやつ作り) 🍡



ハーモニカボランティアさま来園♪



この度、中央競馬馬主社会福祉財団（一般社団法人東京馬主協会）の寄付により温冷食事配膳車を購入致しました。
ありがとうございました。



齋藤理事長の絵画をスマイルロードに展示しました。



開園記念日に職員へ記念品（パン）を配布し、新年度の目標を共有しました。



家族懇談会



市川ケアワーカーに園長から「接遇優秀賞」を授与しました。
おめでとう！

